

# 令和3年度 事業計画

## 1 基本理念

利用者の立場に立った良質な福祉サービスを提供するとともに、地域住民との交流・連携を図り、開かれた法人運営に努めます。

## 2 中長期計画運営方針

- (1) 職員の知識・技能を高め、質の高いサービスを提供します。
- (2) 設備・機器を充実させ、快適なサービスを提供します。
- (3) 地域住民との交流・連携を図り、公益的な取組みを進めます。
- (4) 職員体制、人事・福利厚生制度を充実させ、働きやすい職場づくりを進めます。

### 【主な事業の進捗状況】

実施事項	進捗率	取組内容
<b>【人材の確保と育成:本部】 (%)</b>		
リクルーター制度の導入	100	就職展などにおいてリクルート活動を行うため、若手職員を活用したリクルーター制度を導入した。(2018)
外国人の受入れ	80	介護福祉士養成施設奨学金貸付制度要綱を設置し、養成施設に周知を要請した。(2018) ベトナム人留学生を1名採用した。(2018) 特定技能制度によりインドネシア人の介護士5名の受入れを決定した。(2019) 特定技能制度を利用したインドネシア人介護士を受入れ、とよた苑及び第2とよた苑にそれぞれ2名ずつ配置した。(2020)
職員紹介制度の導入	100	法人が募集する対象求人への紹介に対し謝礼金を支給する制度を導入した。(2019)
採用サイトの新設	100	新卒採用者及び中途採用者への効果的な情報提供を行うためのWebサイトを新設した。(2019)
職員採用動画の作成	100	採用活動の強化のため、職員採用動画を作成し、法人ホームページの採用サイトにアップした。(2020)
人事制度・給与制度の見直し	100	職員の能力開発や人材育成のため、人事評価システム及びキャリアパス制度を構築するとともに、キャリアパス制度と連動した給与制度に改正した。(2019)
オンライン型研修の導入	10	各OJT研修の統一化及び自己学習を支援するため、インターネットを活用したオンライン型研修の導入に向け情報収集を行った。(2020)
<b>【福利厚生の充実】</b>		
事業所内託児所の設置	100	パート職員の雇用と職員の子育て支援のため、春緑苑内に事業所内託児所を設置した。(2019)

最寄駅からの通勤用送迎サービスの導入	10	春緑苑・春日苑の職員を対象に通勤送迎バスの利用についてアンケートを実施し、デｲサービスの送迎と合わせて検討を進めることとした。(2019) デｲサービスの送迎業務の委託について、運行管理サービス提供事業者と検討を進めたが、費用対効果を考慮し導入を断念した。(2020)
職員宿舍借上げ制度の導入	100	職員宿舍借上げ制度を新設し、ｲﾝﾄﾞﾈｼﾞｱ人介護士4名、高卒新卒者(遠隔地採用)2名を受入れるため、民間アパート(豊田地区5室、春日井地区1室)を借上げた。(2020)
<b>【ICT化の推進:本部】</b>		
Wi-Fi環境の整備	100	全高齢福祉サービス事業所に整備した。(2018) 全障がい福祉サービス事業所に整備した。(2019)
ﾀﾌﾞﾚｯﾄ端末対応の介護ソフトの導入	100	全介護保険事業所及びケアハウスに導入した。(2018) 全障害福祉サービス事業所に導入した。(2019)
見守り支援ﾎﾞｯﾄﾞの導入	100	全ての高齢者入所施設に見守り支援ﾎﾞｯﾄﾞ「眠りｽｷﾞﾝ」を導入した。(2018) スマートフォン対応型ﾅｽｺｰﾙを第2春緑苑(特養)、春緑苑(ケアハウス、ｼｮｰﾄｽﾃｲ)の3施設に導入した。(2018) スマートフォン対応型ﾅｽｺｰﾙを春緑苑(特養、ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ)、第2とよた苑の3施設に導入した。(2019)
ネットワークセキュリティの強化	80	ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ上に法人内拠点間を結ぶ専用のネットワーク(VPN)を構築し、通信の安定性やセキュリティを確保した。(2019)
<b>【業務の効率化:本部】</b>		
車両リース、車両管理の一括契約	100	法人所有の車両のメンテナンスを一括外部委託した。(2019)
給油管理の見直し	100	複数のｽﾀﾝﾄﾞが利用可能な給油ｶｰﾄﾞを車両台数分配布し、給油や洗車の利便性を向上させた。(2018)
ｲﾝﾀｰﾈｯﾄﾊﾞﾝｷﾝｸﾞ等の活用	100	ｲﾝﾀｰﾈｯﾄﾊﾞﾝｷﾝｸﾞを活用し振込みを行うことで、事務の合理化に繋がった。(2018)
勤怠管理システムの導入	100	職員の勤怠管理や勤務表作成を支援するためのシステムを構築し、人事労務管理の効率化を図った。(2019)
<b>【法人ロゴの製作及び公用車のﾗｯﾋﾟﾝｸﾞ:本部】</b>		
法人ロゴの製作	100	法人ロゴを活用し、名刺、封筒を作成した。(2019)
新ロゴを取入れた公用車のﾗｯﾋﾟﾝｸﾞ	順次	公用車の車両更新時に合わせ、順次、法人ロゴを取入れたﾗｯﾋﾟﾝｸﾞを進めることとした。(2019～)
<b>【地域貢献活動の推進:大府】</b>		
地域貢献事業への取り組み	50	大府の郷に大府市のふれあいサロン事業として地域住民の交流の場となる「長草横丁」を開所した。(2018)
<b>【その他事業】</b>		
春緑苑短期入所施設の大規模改修の実施	100	全室個室化及び浴室、食堂等施設の全面改修を行うとともに、単独型施設から特養併設型施設に変更した。(2020)

若草苑改築事業	20	豊田市と「豊田市養護老人ホーム若草苑建て替えに関する基本協定」を締結し、基本設計業務の業者選定を進めた。(2019) 実施設計を行い、工事請負業者選定のための入札手続きを進めた。(2020) 若草苑の改築に伴い、若草苑デイサービス事業を廃止することとした。(2020)
第2 さくら保育園(仮称)の新設	20	春日井市白山地区新設保育園の公募に応じ保育園の新設を決定し、住民説明会の開催及び実施設計を行った。(2020)
とよた苑雨水排水工事の実施	100	施設全体の雨水排水対策を行った。(2018)
春日苑エレベーターの増設	—	設置場所について検討を進めた。(2019) 適当な設置場所が決定できず、当面、見送ることとした。(2020)
ドライブレコーダーの導入	100	運転者の交通安全意識を高めるとともに事故時の検証に役立てるため、利用者送迎用の車両にドライブレコーダーを導入した。(2019、2020)
第2 とよた苑駐車場の整備	20	慢性的な駐車場不足を解消するため、近隣土地の購入手続きを進めた。(2020)
非常用自家発電設備の整備	80	大規模災害発生時に電力供給が停止した場合に備え、最低限の電力を確保するため、自家発電設備の整備を順次進めた。春緑苑(特養、ケアハウス、グループホーム)、第2 春緑苑、とよた苑(特養、ケアハウス)、第2 とよた苑、保見の里、サホーム豊田(2019)
地下水利用受給設備の整備	20	大規模災害発生時に水道供給が停止した場合に備え、地下水膜ろ過システムによる地下水の受給設備の整備を順次進めた。第2 春緑苑(2020)
<b>【事業所共通】※施設固有の取組みは除く</b>		
ICT 活用による業務の効率化	100	「眠りスキャン」を順次導入し、入所者の睡眠効率の改善や職員の精神的、身体的負担の軽減に繋げた。(2018～) 介護ソフト「ケアカルテ」の記録管理や計画書管理などの機能向上のため、ソフトのカスタマイズを行った。(2020)
ワークライフバランスの推進	80	年休の計画的取得や勤務時間の見直しによる残業の削減を進めた。(2019～)
事業継続計画(災害編)の策定	80	大規模災害発生時においても必要とされるサービスを提供するため、拠点ごとに事業継続計画(災害編)を策定した。(2019)
災害時対応マニュアル(通所編)の策定	80	大規模災害発生時におけるデイサービス事業の対応マニュアルを策定した。(2020)
事業継続計画(新型コロナウイルス感染症編)の策定	60	新型コロナウイルス感染症の感染者が発生した場合においても必要とされるサービスを提供するため、拠点ごとに事業継続計画(新型コロナウイルス感染症編)及びリーベイング計画を策定した。(2020)
<b>【利用者サービスの向上】</b>		
寝具の改善	100	寝具一式を全施設リース化し、高齢者施設の掛布団(夏・冬)を羽毛布団とした。(2019)

<p>オムツの使用感の検証と契約の統一化</p>	<p>100</p>	<p>各施設が使用する利用者用オムツについて、主要メーカーの製品のモタリングを行い、評価が高かった製品に統一し単価契約を行うことでコストダウンを図った。(2019)</p>
--------------------------	------------	--

### 3 令和3年度運営方針

#### (1) 令和3年度介護報酬改定への対応

令和3年度の報酬改定においては、新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策の強化、感染症や災害を想定した業務継続計画の策定、高齢者の虐待防止の推進、認知症への対応力の向上、口腔衛生管理、栄養ケア・マネジメントの強化など新たな取り組みも多く盛り込まれました。これらについては、いずれも3年間の経過措置期間が設けられましたが、職員配置も含め実施に向け取り組んでいきます。

さらに、令和3年4月から「介護に関するサービス・状態等を収集するデータベース」＝LIFE（ライフ）が本格稼働となります。これは、厚生労働省が介護現場からデータを収集・分析・フィードバックすることで、科学的根拠に基づいてPDCAサイクルを回し、自立支援や重度化予防に役立てようとするものです。これに対応するため、平成30年度から導入した介護ソフト「ケアカルテ」を活用していきます。

#### (2) 新型コロナウイルス感染症への対応

昨年度、新型コロナウイルス感染症に対応した事業継続計画を拠点ごとに策定しましたが、令和3年度報酬改定において感染症が発生した場合でも必要なサービスが提供できるよう業務継続に向けた計画等の策定、研修の実施、訓練の実施が義務付けられたことから、計画の検証見直しや研修、シミュレーションを行うとともに職員への周知徹底を図っていきます。

また、ワクチン接種にあたっては、施設入所者や従事者に対する接種がスムーズに行われるよう関係機関に協力していきます。

#### (3) 職員の確保

令和3年4月の新卒採用者は22名の予定であり、平成30年度30名、31年度17名、令和2年度13名と年々新卒者が減少する中で、一定の職員を確保することができました。この中には、昨年度創設した「職員宿舍借上げ制度」を活用し遠隔地の高卒者を2名採用することができました。令和3年度は、昨年度制作しました採用動画を活用したオンライン見学会も取り入れながら採用活動を行っていきます。

また、介護人材確保のため、昨年度、特定技能制度を活用し、とよた苑及び第2とよた苑にインドネシアから計4名の外国人介護士を受入れましたが、今後も新型コロナウイルスの情勢を見極めながら、新たな外国人介護士の確保を図っていきます。

#### (4) 職員の資質向上

コロナ禍の中、集合研修の実施や外部研修への参加が困難な状況となっていることから、職員の資質向上を図るため、インターネットを活用したオンライン型の動画研修を導入していきます。動画研修は、職員の個々のレベルに合った研修が選択でき、業務時間外も自発的に繰り返し勉強できる利点があり、法人として参加する研修動画を統一化するため、動画の種類、内容について現場管理者の意見を聞き業者選定を行っていきます。

#### (5) 大規模災害に対する対応

令和元年度に大規模災害を想定した拠点施設ごとの事業継続計画（BCP）を策定したところですが、災害時においても一定のサービスを継続するため、順次、非常用自家発電設備及び地下水利用受給設備の整備を行っており、令和3年度は春日苑に非常用自家発電設備を、第2とよた苑、大府の郷に地下水利用受給設備の整備を行っていきます。

さらに、令和3年度報酬改定において災害の対応の業務継続計画の策定、研修・訓練の実施が義務付けられたことから、令和元年度に策定した拠点ごとの事業継続計画の検証・見直しを行いつつ、研修・訓練を行っていきます。

#### (6) 養護老人ホーム若草苑の改築

養護老人ホーム若草苑については、令和元年12月に豊田市と「豊田市養護老人ホーム若草苑建て替えに関する基本協定」を締結し、昨年度、実施設計を行いました。令和3年度は、4月1日付けで「豊田市養護老人ホーム等の管理運営主体の移管に関する協定の取扱い等に関する覚書」、「建物等譲渡契約」、「土地等使用貸借契約」を締結し、入札、工事契約の締結を行った後、仮設ハウスの設置、既設居住棟の解体、新設居住棟の建設工事を順次行っています。

また、アスベスト調査の結果、居住棟、管理棟、デイサービス棟のそれぞれの外壁にアスベストが含有されていることが確認され、アスベスト除去工事が必要となりました。この件については、4月1日付けで「豊田市養護老人ホーム若草苑のアスベスト除去に関する協定書」を締結し、法人が改築工事と一体的に除去工事を実施していきます。なお、施工費用は豊田市が負担します。

#### (7) 第2さくら保育園（仮称）の新設

春日井市白山地区に新設する春日井市認可保育園については、昨年度、基本設計の作成過程で2回の住民説明会を開催し、住民意見を取入れ実施設計を行いました。令和3年度は、入札、工事契約を締結後、建設工事に着手し、令和4年2月末の竣工を目途に整備を進めていきます。

また、新設保育園に配置する保育士の確保にも努めていきます。

#### (8) その他の事業

##### ア 第2とよた苑周辺工事の実施

敷地内駐車スペースの慢性的な不足を解消するため、近隣の土地（約286坪）を新たに購入し、駐車場を整備していきます。また、敷地北東部の境界沿いに敷設される下水道との接続工事を行います。

##### イ 春日苑のICT化推進

高齢者施設に導入した見守り支援機器「眠りスキャン」及び連動する通信機器「iPhone」の導入、ナースコールの更新により、入所者の夜間の見守りや緊急時の通信を充実させ、入所者への支援体勢の向上と職員の負担軽減を図ります。